

朝刊で詳報します

この紙面は「webunプラス」でも
ご覧いただけます <https://webun.jp>

北日本新聞

号外

2025
令和7年

10/6

月曜日

発行所 北日本新聞社 〒930-0094
富山市安住町2-14
☎076(445)3300(受付案内)
© 北日本新聞社2025

坂口氏 ノーベル賞

生理学・医学賞

免疫反応抑える細胞発見

大阪大特任教授

「非常に名誉」

【ストックホルム共同】スウェーデンのカロリ
ンスカ研究所は6日、2025年のノーベル生理
学・医学賞を、体内の過剰な免疫反応を抑えるリ
ンパ球の一種「制御性T細胞」を発見した坂口志
文大阪大特任教授(74)と米国の2氏に授与すると
発表した。坂口氏の発見は、アレルギーや自己免
疫疾患などの治療や、がん免疫療法の研究に発展
している。

昨年平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協
議会(被団協)に続き日本の受賞は2年連続で、

30人・団体となった。生理学・医学賞は18年の本
庶佑(たすく)京都大特別教授(83)以来7年ぶり、6人目と
なる。

授賞理由は「免疫応答を抑制する仕組みの発
見」。坂口氏は、大阪大の自身の研究室前で報道
陣に「非常に名誉に思います」と述べた。

坂口氏は、体を病気から守る免疫システムのう
ち、侵入した病原体などの異物を攻撃するT細胞
を研究。正常なT細胞の中に、過剰な攻撃を抑え
る役割を担うものがあることを発見した。

1995年、他のT細胞と見分ける目印となる
分子「CD25」を特定し発表。その存在を立証す
ると、2000年に制御性T細胞と命名した。

授賞式は12月10日にスウェーデンで開かれる。
賞金1100万スウェーデン鎊(約1億7千万円)
を3氏で均等に分ける。

さかぐち・しもん 1951年1月19日、滋賀県長浜
市生まれ。76年京都大医学部卒。83年京都大で博士号取
得、医学博士。米ジョンズ・ホプキンス大、米スタンフ
ォード大などを経て、99年京都大再生医科学研究所教授。
2007年同研究所長。11年大阪大免疫学フロンティア
研究センター教授、16年特任教授。17年大阪大名誉教授。
08年慶応医学賞、12年朝日賞、日本学士院賞、15年カナ
ダのガードナー賞、17年スウェーデンのクラフォード賞、
20年ロベルト・コッホ賞など受賞。09年紫綬褒章、17年
文化功労者、19年文化勲章。74歳。

文化勲章受章が決まり、記者会見で笑顔を見せる坂口志文氏＝2019年10月、大阪府吹田市

購読申し込みは [フリーダイヤル 0120\(88\)3746](https://webun.jp) ハチハチ みなよむ

webunプラス <https://webun.jp>